

令和8年度

江原南小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○基礎的・基本的事項を身につけさせる指導の継続  
○児童が意欲的に取り組める課題を設定し、見通しをもって学習できる授業の実践

校長

山口 茂

学力向上推進員

校長・教頭・教務・各学年主任・特別支援コーディネーター・学力向上担当

【各校の取組状況の把握について】

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや計算は、学年相当の力をもっている児童が多い。 ●知識・技能習得に偏りがあり、学力が二極化している。 ●文章の内容を正しく理解し、読み取ることが難しい児童が多い。	・該当学年の漢字・計算を身につけることができている。 ・身につけた漢字・計算等を日常生活で活用することができる。 ・文章を読み、内容を正しく読み取ることができる。	・タブレットや小テスト等、反復学習のバリエーションを増やす。 ・日記や作文で、学習した漢字や言葉を使ったり、既習事項を生かす課題を取り入れたりして、学習内容を使う機会を設定する。 ・キーワードに下線を引く、囲むなど文章の読み取り方のスキルを身につけさせる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自信がある時や小集団の中では、意欲的に自分の意見を表現することができる。 ●集団の中で根拠をもとに話したり、目的や意図に応じて書いたりする力が弱い。	・自分の意見と比べながら、最後まで相手の話を聞くことができる。 ・自分の考えをもち、様々な方法で表現することができる。	・「あったかいおへそ」を徹底し、児童が自分の意見を表現しやすい雰囲気をつくる。 ・自力解決の時間を確保し、ノート等に自分の考えを書き留めさせ、残していくよう指導する。 ・様々な場面、形態、ツールを工夫して表現する機会を増やしていく。 ・集団で話し合う時間を設定し、教師はファシリテーター役になる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題やパターン化されたドリルなどには、真面目に取り組むことができる。 ○自主学習ノートに意欲的に取り組んでいる児童が多い。 ●家庭学習の質に差がある。 ●困難な課題になると最後まで粘り強く取り組むことができない児童が多い。	・自ら進んでめあてをもち、学習に取り組むことができる。 ・困難な課題にも最後まで粘り強く取り組むことができる。	・授業の導入を生活と結びつけたり、学習したことを家で話したくなったりするように工夫する。 ・自分の興味のあることを自主学習や授業、生活に活かす。 ・得意なことを伸ばすことができるような環境設定や声かけを行う。			